

各 位

会社名 大建工業株式会社
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 億田正則
 コード番号 7905 (東証一部)
 問合せ先 執行役員 経理部長 森野勝久
 電話番号 06-6205-7194

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2021年5月14日に公表しました2022年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想並びに配当予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせします。

記

1. 業績予想の修正について

2022年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2021年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	100,000	5,200	5,400	3,100	119.03
今回修正予想(B)	106,000	8,300	8,700	4,600	176.58
増減額(B-A)	6,000	3,100	3,300	1,500	
増減率(%)	6.0	59.6	61.1	48.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	92,671	2,857	3,371	1,986	76.29

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	204,000	10,000	10,400	6,000	230.37
今回修正予想(B)	210,000	13,300	13,900	7,500	287.86
増減額(B-A)	6,000	3,300	3,500	1,500	
増減率(%)	2.9	33.0	33.7	25.0	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	199,210	8,779	9,935	5,620	215.83

(修正の理由)

2022年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、2021年5月14日公表時点では、国内は、新築住宅及びリフォーム市場における需要が、概ね前第3四半期以降の基調で推移することを前提とし、米国は、好調な住宅市場における需要は引き続き強いものの、当社が手掛けるLVL等の市況価格に過熱感があることから、一定の調整が入ることを前提として算定しておりました。これに対しまして第1四半期までの市場環境は、国内では、新築住宅及びリフォーム市場における需要が、想定よりも堅調に推移し、床材・ドアなどの建材や首都圏で手掛けるマンションリノベーションの売上が想定を上回りました。また米国では、LVL等の市況価格が調整局面に入ることなく高水準で推移しました。これらの状況が、第2四半期まで継続することが見込まれますことから、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益、いずれも上方修正することとしました。

また、2022年3月期通期連結業績予想につきましては、上記の第2四半期連結累計期間の業績予想を反映するとともに、国内では、新築住宅及びリフォーム市場における需要は、第3四半期以降につきましても、第1四半期までの基調が継続する一方、米国では、住宅市場の好調さは継続するものの、当社が販売するLVL等の市況価格の先行指標となる製材品の市況価格につきましては、軟化の傾向もみえてきていることから、第3四半期以降に一定の調整が入ることを前提として見通しを算定しました。

2. 配当予想の修正について

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2021年5月14日発表)	40.00	40.00	80.00
今回修正予想	45.00	45.00	90.00
前期実績 (2021年3月期)	30.00	40.00	70.00

(修正の理由)

当社の株主還元方針は、配当性向 30%以上を目標とし、業績に連動した利益還元を目指しつつ、安定的な配当の維持に努めることとしております。2022年3月期の配当の予想につきましては、上記の業績予想の修正を踏まえて、2021年5月14日に公表いたしました中間配当及び期末配当ともに1株につき40円00銭から5円00銭増配し、それぞれ1株につき45円00銭に修正いたします。年間配当としましては、1株につき90円00銭(10円00銭の増配)、配当性向は31.3%となります。

(注) 上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上